THE PAUL TIMES

TUESDAY JULY 31 2018

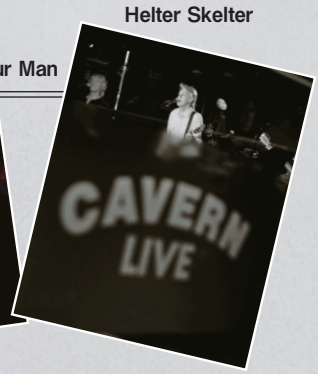
ポール・イズ・バック！

ポールがキャヴァーン・クラブに帰ってきた！

7月26日、ザ・ビートルズ初期にライヴを行っていたリヴァプールの
キャヴァーン・クラブでライヴを開催。
新曲、ザ・ビートルズ、ウイングス、ソロ、と全キャリアに亘る28曲を披露しました。
“素晴らしかった。たくさんの美しい思い出が戻ってきて、
僕らの出発点を思い出させてくれた”（ポール・マッカートニー公式SNSより）
なお、2日前の7月24日にはロンドンのアビイ・ロード・スタジオ前の
横断歩道を渡り、その動画が公式SNSで公開された。

セットリスト

Jam	Queenie Eye	Fuh You
20 Flight Rock	1985	Get Back
Magical Mystery	Lady Madonna	Ob La Di
Jet	In Spite Of All The Danger	Band On The Run
All My Loving	Things We Said Today	Hi Hi Hi
Letting Go	Confidante	Saw Her Standing There
Come On To Me	Love Me Do	Sgt Peppers
Let Me Roll It	Who Cares	Helter Skelter
I Got A Feeling	Birthday	
My Valentine	I Wanna Be Your Man	



From リバプール to エジプト・ステーション（ポールゆかりの地探訪）

第1回
リバプール

ポールが生まれた場所。ポールが音楽を始め、バンド「ザ・ビートルズ」で地元のクラブで下積みし、念願のデビューを果たした原点、まさに人生の始発駅といえる場所である。イギリス北西部にある港町で労働者の街だったが、現在はビートルズの功績も大きく観光地としての発展も遂げている。ポールは総合芸術大学LIPA（リパ）を創立するなどし、地元にも貢献。今年6月にはアメリカのテレビ番組『レイト・レイト・ショー・ウィズ・ジェームズ・コーデン』の人気コーナー『カープール（相乗り）・カラオケ』の撮影でリバプールへ。ポールはパブで演奏。観客のためだけに新曲「カム・オン・トゥ・ミー」を披露した。

ポールの新作に向けてコメントを頂きました！

この若々しいエネルギーと、みずみずしい感性は、
どうしたら保てるのだろう。ビートルズからもう少しで60年。
ポール・マッカートニーは20世紀から21世紀の世界に
君臨する生きた音楽神だ。　音楽評論・作詞 湯川れい子

これだけは押さえておきたい！ ポール 半端ない伝説10

その1 56年間現役で100作品を超えるアルバムをリリース

ポール・マッカートニーがデビューしたのは1962年、あの伝説のバンド、ザ・ビートルズのメンバーとしてである。1970年にバンドが解散し、ソロ活動をスタート。2018年の今も音楽シーンの最前線で活動を続けている数少ないアーティストの一人だ。楽曲制作だけでなく、ツアーやメディア出演などの活動にも同じパワーを持続している。UKオフィシャル・チャートでは、「最も多くのNo.1アルバムを持ち、最も長くNo.1に滞在した記録を持つアーティスト」とされている。スタジオ・オリジナル・アルバムの数もすごい。ザ・ビートルズとして13作品(*)、ウイングスとして7作品、ソロで17作品(**)、クラシックが5作品。これにライブ・アルバムやカバー・アルバム、前衛アルバム、ベスト盤などの編集盤を加えると100作品を優に超えてしまうのだ。

*US盤『マジカル・ミステリー・ツアー』含む
**ポール&リンダ・マッカートニー名義『ラム』、最新作『エジプト・ステーション』含む

その2 世界で最もカバーされた曲を作った（「イエスタデイ」）

その昔、いや現代もある意味同じかもしれないが、ロック・ミュージックは「うるさい」「騒音」と言われることがあった。ビートルズももちろん例外ではなかったが、1965年の「イエスタデイ」という楽曲で大人たちをも虜にすることになった。これはポールが夢の中で鳴っていたメロディを楽曲にしたもの。メロディとギターだけですでに完璧だった。その曲に、周りはソロでやるべきと勧めるが、ポールは「僕らはロックバンド」だからとシングル発売も断った。にも関わらず、この曲は現在カウントされているだけでも2,200のカバー・バージョンが存在し、「世界で最もカバーされた曲」と記録されている。しかし、コンサートでのカバーなどを入れるととてつもない数になるだろう。

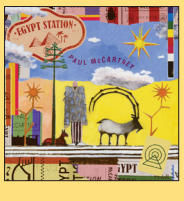
絶賛配信中！ 先行シングル「カム・オン・トゥ・ミー」の聴きどころ

アルバムからの先行シングル*。ポールのルーツ・ミュージックであるロックンロールをオマージュした曲で、エレキ・ギターのリフ、ドライなボーカル、大きなグルーヴのドラム、オルガン、連打するピアノ、ハーモニカ、ブラス・セクション、ハンドクラップ……様々な時代のロックの定番サウンドがまるで集大成のように次々と繰り出される。ポールお得意のベースのグリッサンドやフィルインも聞きどころ。ダブルトラッキング・ボーカルや（エレクトリック）シタールが使われているところにファンはビートルズを感じた。

* 'I Don't Know' と両A面シングル、ダウンロード限定リリース

最高のロック・レジェンド 5年ぶりのニュー・アルバム！
ザ・ビートルズ × 現代的なサウンドともいうべき強力作！

『エジプト・ステーション』
2018年9月7日 発売



CD: UICC-10040 / ¥2,600（税抜）＋税　2LP [直輸入盤仕様]: UIJC-90001/2 / ¥7,800（税抜）＋税
2LP [カラーLP] [直輸入盤仕様] [Universal Music Store限定商品]: PDJI-1041/2 / ¥9,800（税抜）＋税

発行：ユニバーサル インターナショナル　https://www.universal-music.co.jp/paul-mccartney/　協力：ザ・ビートルズ・クラブ